

# 災害廃棄物処理 受け入れに協力

亀山市 「時期や品目未定」

【亀山】亀山市議会六月定例会は二十一日、片岡武男（市民クラブ）、伊藤彦太郎（ほづら）、服部孝規（共産）、新秀隆（公明）、尾崎邦洋（緑風会）、岡本公秀（新和会）の六議員が、電力不足対策、道の駅関宿の運営、同市の消防力、危機管理体制などについて一般質問した。

このうち片岡議員は、被災地域からプラスチック系ごみを引き受け、熔融処理で発電量を増加し、電力不足を補ってほしいと質問。廃棄

物の受け入れ処理について  
国分純環境・産業部長は  
「四月に環境省、県を通

じ、協力依頼があり、当局として可能な限り協力する旨回答した」と述べた。  
また、「災害廃棄物は、現在一次対策として、仮置き場への移動、集積を実施中で、来年度以降、二次仮置き場へ移動、その後被災地からの要請により処理協力をする体制であり、現時点では、具体的な搬入時期、品目は未定」と答弁した。二十二、二十三の両日も一般質問。